



ほどエコネット通信



～ほどがや地球温暖化対策推進ネットワーク～



暖かい日が増え、春めいてきました。お花見シーズンの到来ですね。

今回の「ほどエコネット通信」では、待機電力について紹介します。家庭における待機電力を減らす工夫を考えてみませんか。少しの意識でできるエコな取組です！

待機電力について考えよう ～待機電力削減の取組～

待機電力とは

コンセントに接続された家電製品が、電源の切れている状態でも消費する電力です。世帯当たりの平均待機電力量は、年間 228kWh（電気料金換算で約 5,900 円）で、**全消費電力量の約 5% に相当します。**

今回紹介する 3 つのステップに順に取り組むとトータルで待機電力を約 49% まで削減することができます。



ステップ 1

操作パネル表示部分に消灯機能の省エネモードがある機器は省エネモードに設定する。

➔消費電力量 約 8% 削減（約 500 円の節約）になります。

ステップ 2

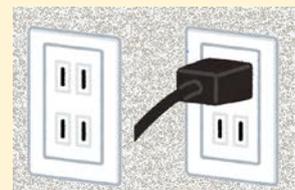
使わないときは、機器本体の主電源スイッチを切る。

➔消費電力量 約 19% 削減（約 1,100 円の節約）になります。

ステップ 3

使わないときは、プラグを抜くようにする。

➔消費電力量 約 49% 削減（約 2,900 円の節約）になります。



（出典：東京ガス「ウルトラ省エネ BOOK(2015)、開隆堂「省エネ行動スタート BOOK」より）

問い合わせ

保土ヶ谷区区政推進課企画調整係 電話：045-334-6228 F A X：045-333-7945



✉ho-eco@city.yokohama.jp 〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町 2-9

